

## 地域研修感想文 (2023/08/01-09/31)

東京慈恵会医科大学附属病院 研修医 2年目 植田舞

静岡県出身の私は、地域研修では緑が多く自然を感じられる場所に行きたいと思っていました。そのため町立津南病院に決定した際は、新潟県に行くこと自体初めての私は緊張感を覚えましたが、それ以上にとてもうれしく思いました。

越後湯沢駅についてまず印象的だったことは山が近い！空気がおいしい！ということでした。津南町へ40分かけて車で向かう際には、山道に街灯がなく真っ暗なことが少し怖かったことも今となっては懐かしく思い出します。はじめは広すぎて落ち着かなかった宿舎もあつという間に慣れ、快適になり、目前に広がる田んぼの稲穂が日に日に色づく様子を眺めることが毎日の楽しみになりました。

研修期間中は多くのことを学び、経験させていただきました。訪問看護や訪問診療、デイケアに同行させていただいた際には、想像では知りえなかった都心との違いに驚きました。都心では至る所に病院があり、体調不良により薬が必要な際もすぐに受診できる環境です。しかし津南町では医師、看護師が出向かなければ医療に関わるのが難しい患者さんがたくさんいらっしゃいました。真夏の暑い日に暑いままの部屋の中で過ごしておられたご高齢の方も多く、自ら病院に行くことがかなわない患者さんにとって定期的に訪問することは医師にとって大切な使命であり、大きな支えになっていると気が付きました。

他にもデイサービスや水中運動、健骨体操などにも参加させていただきました。参加されている方々は皆さんご高齢にもかかわらず、とても明るく楽しそうに過ごされていて、私の方が毎回元気をいただいていた気がします。外来や病棟勤務をする中でも感じた患者さんたちの快活さは、地域に密着したこうした活動も一つの要因になっているのではないかと参加してみて改めて感じました。

病棟勤務では患者さんを受け持たせていただき、主治医を経験しました。治療はもちろんのこと、患者さん自身だけでなく、ご家族への配慮と説明、そして退院後の生活まで考慮することの大切さを学びました。紙カルテには少し苦戦しましたが、他の先生や看護師さんの手書きの文字は、読むと心が通じ合うような気持ちになり仕事をする上での力になりました。

津南町で過ごす日常は癒しそのものであり、素のままでも過ごせた日々でした。毎晩のように温泉にも通いました。ミオン中里、ナステビュウ、しなの荘、千年の湯、雲海、竜神の館…それぞれの魅力があり、一番を決めることはできません。温泉で終わる一日は本当に贅沢で幸せな気持ちで眠りにつくことができました。温泉だけでなく、津南の食事もたくさん堪能しました。へぎそばをはじめ、大名かつ丼もお気に入りとなりました。お米は言わずもがなですが、魚沼産コシヒカリの新米もいただくことができるとても幸せでした。

休日には観光名所である清津峡や竜ヶ窪、寺泊も巡り、満開のひまわりも堪能しました。そして夏といえばなんといっても長岡花火です。あまりにも見事な花火に感動が止まらず二日間とも通いました。花火に味を占めた私はそのあと片貝花火にも行きました。観光や遊びの話に終始してしまいましたが、津南を中心に、新潟でのあらゆる経験は、病院研修に並ぶ素晴らしいものとなりました。

最後になりますが、ご指導いただきました先生方、看護師さん、薬剤師さん、検査技師さん、事務さん、・・・他、関わってくださったすべての方々が未熟な私に優しく接して下さったこと、感謝の気持ちで一杯です。なかでも林先生にはご迷惑もお掛けする中、ずっと笑顔で支えてくださいましたこと決して忘れません。

皆さまと離れることはとても悲しく後ろ髪ひかれる思いですが、また必ず訪れるつもりでおりますので、その際はまた笑顔で迎えていただけたら幸いです。

今後も今の気持ちを忘れず、患者さんや周りから頼りにされる医師となれるよう努力して参ります。

この二ヶ月間本当にありがとうございました。町立津南病院で研修できて本当に良かったです。